

3月の定例作業は3月8日(土) 9時からグリーントリム公園に集合

下枝刈り、下刈り、支障木伐採、ゴミ拾いなどをします。

雨天のとき、翌週土曜日 3/15 に延期。

3月の平日作業は、3月18日(火) 9時からグリーントリム公園に集合

木々の剪定や落ち葉清掃などをします。雨天中止。

1. 2月の定例作業は、道具類整備、支障木伐採、コースター作り、落ち葉清掃、ゴミ拾いなど

2/8(土)は冬晴れ。微風で暖かい日です。参加者13名。

体操の後、道具類の整備をしました。チェーンソーを分解、クリーニング、ソーチェーンの刃研ぎや、のこぎり目立てなど。

また、コースター作りもしました。緑の募金協力者に進呈しようと話していました。



チェーンソーのメンテ



コースター作り

その後、メンテを施したチェーンソー

を使って、若手の中川正行さんが2本の支障木を伐採しました。枝払いし、4m長に幹を切断しました。そのうちコースター向きの幹2本の皮剥ぎをしました。残りは材料置場に運びました。



切り株は“支障木”を示す



支障木伐採、伐倒の瞬間



枝払い



材料置き場に積み上げ

2. 2月の平日作業は、オオスズメバチ女王駆除、薪割り

2/18（火）晴れ、気温6℃。参加者8名。

まず、オオスズメバチ女王の冬眠しているかもしれない切り株の腐食部分を切除しました。これは、過日オオスズメバチの出入りを保育園の先生が発見、保存会に知らせあり、これに対応したものです。ウイングパークも対応してくれました。オオスズメバチの冬眠は、新女王バチ1匹のみの睡眠なので発見しにくいので、切り株を地面以下も切り、この後スズメバチ退治スプレーをかけました。保育園児らが遊ぶ尾根道の切り株なので特段の注意が必要です。

また、残った時間、薪置き場の空いた空間を埋めるべく、薪割りと束ねをしました。約25束。薪材はよく乾燥していて、直ぐにでも使えそうです。



切り株に冬眠中かもしれないオオスズメバチ駆除



薪割り、薪束ね

山火事に用心を

大船渡の山林火災はこの通信発行日においても現在進行中、この時点で1200ヘクタールが焼け、民家84軒が焼失、1人死亡、4600人に避難指示があると報道されています。雨が降らず、空気や落葉などが乾燥し、そこに最大瞬間風速18.2m/sの強風が被災を大きくしています。

山火事の原因は、林野庁によると、たき火が最も多く32%、次いで火入れ、放火、たばこ、マッチ・ライター、火遊び、その他(32%)。その他に含まれる、自然発火は、国・地域によって異なるが、日本では5~10%と言われ(ChatGPTより)、落雷、木枝の摩擦など。

公園の火災統計は見当たらないが、①たばこのポイ捨て、②たき火やバーベキューの火の不始末、③放火、④ガラスやレンズ効果による自然発火、⑤電気設備や機械のトラブル、⑥まれに落雷などのようです。人の不注意や故意によるものが大部分のようです。禁煙マナー厳守、たき火の許可申請、監視カメラや巡回、ガラスや燃えやすいゴミの処理などの対策が必要のようです。(これもChatGTPより)

山火事の原因別出火件数
(平成30年～令和4年の平均) <林野庁より

